

# あいち糖尿病ネットワークセミナー

日糖協 糖尿病認定医 取得のための講習会/登録歯科医のための講習会 愛知県糖尿病療養指導士(aichi-CDEL) 認定更新のための研修会 1.5単位(申請中) ※aichi-CDEL単位希望の方は会の途中でオンライン会議アプリのチャット機能を使って出席確認をします。



2022年7月31日(日)10:00~11:30



Zoom配信



URLもしくはQRコードからお申込みください。 https://bit.ly/3HS3n6D

お申込み後ご視聴URLをメールにてご案内申し上げます。 ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。 \*QRコードは(株) デンソーウェーブ の登録商標です





清野 祐介 先生

藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学 准教授



アウトカム評価に着目して、 地域における糖尿病対策を考える

阿波 友理 先生 合同会社ヘルスサポートラボ



糖尿病性腎症重症化予防プログラムを 「プログラム」で終わらせないために

赤司 朋之 先生 嶋田病院 內科部長

<お問い合わせ先> 住友ファーマ(株) 東海支店名古屋第2営業所 田中祥大

TEL: 052-201-3341 Mail:yoshihiro.tanaka@sumitomo-pharma.co.jp

主催:住友ファーマ株式会社



## 講演 1

#### 抄録

行政と医療関係者が連携体制を構築し、その取り組みを全国に横展開することを目的に糖尿病性腎症重症化予防プログラムが策定・公表されて6年が経過しました。

2022年以降、団塊の世代が75歳を迎え、医療費・介護費をはじめとした社会保障給付費の増加が見込まれる中、医療保険者のインセンティブ指標にもアウトカム(成果)が強く求められています。

今回のセミナーでは、全国統一の国保データベース(KDB)システムを活用し、健診・医療・介護データから見えてきた課題及び地域で予防を担う保健師に期待されている役割について考えます。

阿波 友理 先生 合同会社ヘルスサポートラボ

### 講演 2

#### 抄録

平成28年4月に厚生労働省主導で、糖尿病性腎症重症化予防プログラムが策定された。糖尿病性腎症重症化予防の横展開を目指すとともに取組の質を確保するために、対象者の抽出、関係者との連携や評価等、PDCA サイクルに沿って事業を進めるための基本的事項をまとめたものである。

その後、各都道府県で、独自のプログラムが作成・改定され、粛々と遂行されている。各医療関係者や行政が連携を取りながら、ユニークな取り組みで成果を挙げることができた実例をいくつか紹介し、腎症予防プログラムを推進するためのポイントについて考察したい。

赤司 朋之 先生 嶋田病院 内科部長

主催:住友ファーマ株式会社